長野県看護協会報 https://www.nursen.or.jp/

2023.6.1
No.135

看護 ながの

公益社団法人
長野県看護協会

特集 2023年度定時総会 ― P2

会長あいさつ・定時総会プログラム

定時総会提出議題等――――――― P3
2022 年度　決算報告及び監査報告 ― P4
2022 年度　事業報告の概要 ――― P5
2023 年度　資金収支予算 ――― P6
2023 年度　重点事業と計画の概要 ― P7
2023 年度　常任委員会 ――― P8-9
訪問看護総合支援センター開設―― P10
2023 年度　理事会報告 ――― P11
お知らせ広場――――――― P12

会員数　合計 13,952 人／保健師 1,047人・助産師 668 人・看護師 12,010 人・准看護師 227人（2023 年 5 月 14 日現在）

定時総会を迎えるにあたって

公益社団法人長野県看護協会　会長　松本　あつ子

本年５月８日新型コロナウイルス感染症は感染症法の５類へ移行されました。現場で働いている皆様は、相変わらず感染対策に尽力されていることと思います。皆様の活動に敬意を表するとともに心から御礼を申し上げます。

さて、今総会では３年を超える新型コロナウイルス感染症対策に明け暮れた取り組みについて第２報をもとに振り返ります。昨年度の重点事業について具体的な事業等を報告いたします。そして、今後の事業方針では昨年度からの事業をさらに推進すること、具体的には昨年導入した研修情報管理システムや web を利用した研修等は会員の皆様の更なる利便性を考えた充実を図ります。さらに、看護職を目指す若年層への働きかけは今後の看護界にとって大変重要な取り組みとなります。会員の皆様の力添えがなければ成し遂げられない重要な事業です。

今後もより充実した協会活動を展開し、会員の皆様、そして私たちを必要としてくれる皆様のための活動につなげたいと思います。

まだまだ予断を許さない感染症対応は続きますが、皆様ご自身の健康を心より祈念し総会開催にあたっての挨拶とさせていただきます。

公益社団法人 長野県看護協会
定時総会プログラム

月 日：2023年 6月17日(土)
場 所：長野県看護協会会館

8：30　開　　場
8：50　オリエンテーション

【定時総会】

9：00　開会式
- 物故会員への黙とう
- 会長挨拶
- 来賓祝辞
- 祝電披露
- 長野県知事表彰
- 長野県看護協会名誉会員受賞者紹介
- 長野県看護協会長表彰
- 日本看護協会名誉会員受賞者紹介
- 日本看護協会長表彰受賞者紹介
- 厚生労働大臣表彰受賞者紹介

9：50　議長団選出
- 書記および議事録署名人の決定

9：55　議決事項
- 第一号議案　2023 年度長野県看護協会名誉会員の推薦（案）
- 第二号議案　2023 年度長野県看護協会改選役員及び推薦委員の選出について
- 第三号議案　2024 年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出について

〈投　票〉

10：30　報告事項　次ページ参照
11：45　各種報告　次ページ参照

12：20　選挙結果発表
- 2024 年度日本看護協会代議員及び予備代議員紹介
- 新旧役員紹介・挨拶
- 協会歌合唱

12：30　閉会

【職能集会】13：30～

保健師職能：研修室2
「自分も周りも勇気づける！
こころとからだのセルフマネジメント術
～イキイキとした保健活動をするために～」
講師：加倉井　さおり
（株）ウェルネスライフサポート研究所

助産師職能：研修室3
「教えて！ with コロナ禍での母子支援の現状と課題」
～助産院と訪問助産師との意見交換会～
シンポジスト：保谷　ハルエ　助産所ほやほや
北澤　倫子　助産院おりん
高橋　陽子　池田町社会福祉協議会

看護師職能Ⅰ･Ⅱ合同：4階大ホール
創作講談で語る
「烈女フローレンス・ナイチンゲールから
引き継がれる看護」
～コロナ禍で奮闘する看護職へのエール～
講師：講談看護師　加納　塩梅

15：30　職能集会終了（各会場にて解散）
注)時間は目安ですので前後する場合があります。

提出議題

◆第一号議案　長野県看護協会名誉会員推薦（案）

候補者
小山　久子（東御市）

◆第二号議案　2023年度長野県看護協会改選役員及び推薦委員の選出について

候補役員名	氏名	職種
会長	松本　清美	保
副会長	湯本　敦子	助
地区理事	池田　渓子	看
推薦委員	梅松　幸栄	看
	竹内　英輝	看
	松村さとみ	助
	吉田　千佳	保

◆第三号議案　2024年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出について

	氏名	職種
代議員 1	湯本　敦子	助
代議員 2	内山　詞恵	看
代議員 3	石井　絹子	看
代議員 4	両角　直子	看
代議員 5	菅沼ふじ子	看
代議員 6	町田　和世	保
代議員 7	山名　寿子	助
代議員 8	堀内　清美	看
代議員 9	吉澤　美保	看
代議員 10	本林　　歩	准看
代議員 11	島崎　君江	看
代議員 12	木下　嘉代	看
代議員 13	西村　妙子	看
代議員 14	池田　渓子	看
代議員 15	吉澤美智子	看

	氏名	職種
予備代議員 1	伊藤みほ子	看
予備代議員 2	小坂　晶巳	助
予備代議員 3	椎名　陽子	看
予備代議員 4	細萱　信予	保
予備代議員 5	新美三由紀	看
予備代議員 6	金子　秀夫	看
予備代議員 7	池上　幸代	看
予備代議員 8	那須野寿子	看
予備代議員 9	古村　明美	准看
予備代議員 10	吉田久美子	看
予備代議員 11	真木　喜子	助
予備代議員 12	小山　恵子	看
予備代議員 13	胡桃　伸子	看
予備代議員 14	佐治　瑞恵	看
予備代議員 15	上田　真紀	保

報告事項

報告事項 1　2022 年度事業報告
報告事項 2　2022 年度決算報告 (承認事項) 及び監査報告
報告事項 3　2023 年度重点事業並びに事業計画
報告事項 4　2023 年度資金収支予算及び収支予算

各種報告事項

2022 年度　全国職能委員長会報告
2022 年度　長野県看護協会職能委員会報告
2022 年度　長野県看護協会委員会報告
2022 年度　長野県看護協会支部事業報告
令和 5 年度　日本看護協会通常総会代議員報告

2022年度決算報告及び監査報告

1.2022年度決算の状況（正味財産増減計算書）

（単位：千円）

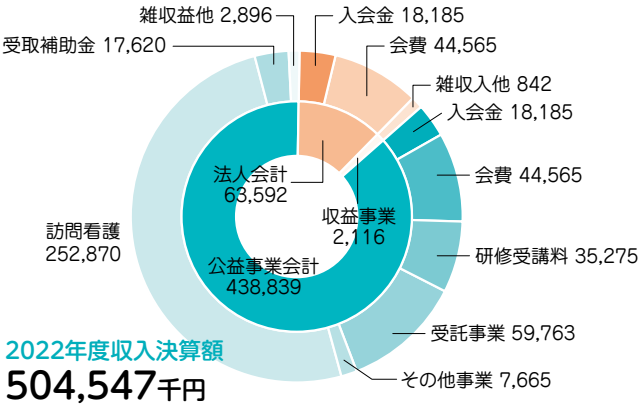
区　分	収　入	支　出	収支差額
予算額（A）	492,614	525,446	△ 32,832
決算額（B）	504,547	490,535	14,012
差額（A－B）	△ 11,933	34,911	△ 46,844

予算に対する比較では、収入は 11,933 千円の増加、一方支出は 34,911 千円の減少となり、収支差額は対予算比で 46,844 千円増の 14,012 千円となりました。

収入は、コロナ対応人材確保事業等の委託事業や県受託収入などが予算見込みを上回ったことによるものです。 一方、支出は、採用を見込んだ職員が確保できなかったことにより人件費が予算を下回ったほか、研修や会議等において、集合形式とオンライン併用が増えたことによる旅費交通費の減など、物件費の支出減を図れたことによるものです。

公益法人財務三基準につきましても、収支相償が僅かに上回っていますが、中長期的な収支相償判定で認められる見込みであり、他の２基準は満たしております。

収入の部

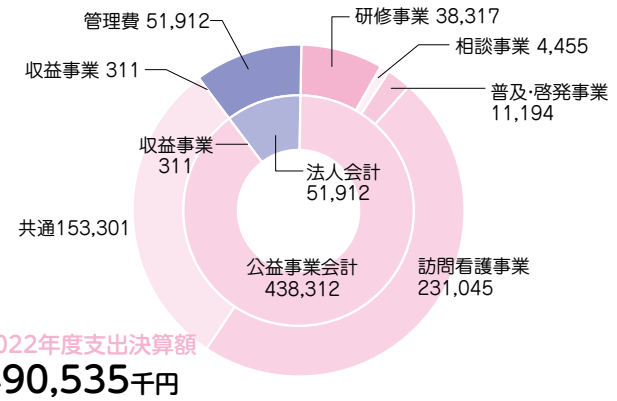


2022年度収入決算額
504,547千円

（単位：千円）

区　分		予算額	構成比	決算額	構成比
公益事業	入会金	18,920	3.8	18,185	3.6
	会費	44,250	9.0	44,565	8.8
	研修受講料	38,420	7.8	35,275	7.0
	受託事業	51,220	10.4	59,763	11.8
	その他事業	160	0.0	7,665	1.5
	訪問看護	256,686	52.1	252,870	50.1
	受取補助金	17,134	3.5	17,620	3.5
	雑収益他	538	0.1	2,896	0.6
	小計	427,328	86.7	438,839	87.0
収益事業	収益事業	1,532	0.3	2,116	0.4
	小計	1,532	0.3	2,116	0.4
法人	入会金	18,920	3.8	18,185	3.6
	会費	44,250	9.0	44,565	8.8
	雑収益他	584	0.1	842	0.2
	小計	63,754	12.9	63,592	12.5
	合　計	492,614	100.0	504,547	100.0

支出の部



2022年度支出決算額
490,535千円

（単位：千円）

区　分		予算額	構成比	決算額	構成比
公益事業	研修事業	44,384	8.4	38,317	7.8
	相談事業	8,196	1.6	4,455	0.9
	普及・啓発事業	15,406	2.9	11,194	2.3
	訪問看護事業	251,619	47.9	231,045	47.1
	共通	149,862	28.5	153,301	31.3
	小計	469,467	89.3	438,312	89.4
収益	収益事業	392		311	0.1
法人	管理費	55,587	10.6	51,912	10.6
	合　計	525,446	100.0	490,535	100.0

2.2022年度決算　事業別状況

（単位：千円）

区　分	収　入	支　出	収支差額
公益事業会計	438,839	438,312	527
収益事業	2,116	311	1,805
法人会計	63,592	51,912	11,680
合　　計	504,547	490,535	14,012

3.公益社団法人の要件となる財務三基準

(1) 収支相償：中長期的に公益目的事業に係わる収入が支出を超えないこと。
収入　　4 億 3,884 万円 ≮ 支出　4 億 3,831 万円

(2) 公益目的事業比率：公益目的事業支出は、総支出の 50％以上でなければならない。

$$\frac{\text{公益目的事業支出}}{\text{総　支　出}} = \frac{\text{4 億 3,831 万円}}{\text{4 億 9,054 万円}} = 89.4\%$$

(3) 遊休財産の保有額：遊休財産≦当該年度の公益目的事業支出額
3 億 1,237 万円 ＜ 4 億 3,831 万円

2022年度決算報告及び監査報告

2023 年 5 月 23 日（火）、監事により貸借対照表、正味財産増減計算書、事業報告並びにこれらの附属明細について監査を受けました。

決算及び監査結果につきましては総会で報告し、承認をいただきます。

※遊休財産とは、法人の純資産のうち使途の定まらないものの額

2022年度 事業報告の概要

新型コロナウイルス感染症流行３年目は、感染者数の急増に伴い福祉施設等でのクラスター発生に感染管理認定看護師の派遣対応、ナースセンターはワクチン接種関連、感染対策研修会を県からの受託事業で行ってきました。

また、2025 年問題を目前に今まで展開してきた重点事業を評価しつつ、人口・疾病構造上次の課題となる 2040 年頃を想定した健康に関わる問題も念頭におきながら、事業を継続しています。ここでは、重点事業・事業計画に沿った事業報告の概要をお知らせします。

多様な勤務場所で働く看護職が健康と療養の視点で「つなぐ看護」ができる育成支援

- 新人看護職員や育成に関わる指導者等の合同研修を継続しました。
- ラダー教育を活用した研修企画を予定通り集合・ハイブリッド開催で中止せず実施しました。
- 長野県看護研究学会をハイブリッド開催しました。（演題 50　参加者 330 名）
- 認定看護管理者教育課程サードレベルの第 1 回を開講し、修了者 25 名を輩出しました。

看護職が役割を果たし地域包括ケア体制の推進

- 新たに長野県医療的ケア児等支援センターと連携し「医療的ケア児を支えるための訪問看護の役割」について研修を実施しました。
- 郡市医師会 8 か所に訪問し、意見交換を行いました。出前講座の依頼による診療所や福祉施設の看護職の研修を実施しました。
- 長野県訪問看護体制強化として「訪問看護総合支援センター」の設置に向け取り組みました。

看護職の働き方改革の推進

- 「看護職の働き方改革推進委員会」の「ヘルシーワークプレイス　タスクシェアリング / タスクシフトの活用」研修を実施しました。
- 日本看護協会より緊急要請の「賃金制度に関する緊急勉強会」を実施しました。賃金制度の改定への取組みの情報発信の継続が引き続き必要です。
- 「看護の日･看護週間」イベントで PR ラッピングバス、トークイベント、書道パフォーマンスを実施し 100 人以上の市民に参加していただきました。

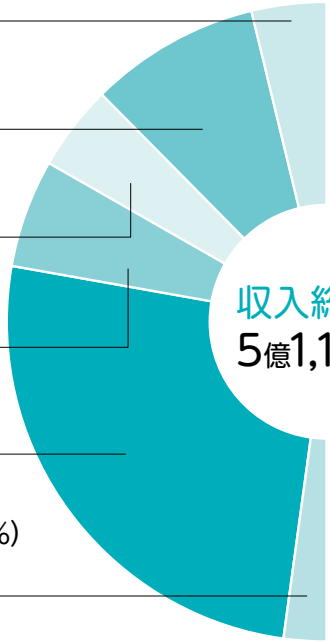
社会の期待に応えられる組織づくり

- 研修情報管理システムの運用を開始しました。
- 新型コロナウイルス感染症に関わる県からの受託事業3つと相談窓口の対応を実施しました。
- 協会立訪問看護ステーションは地域包括支援センター等と「在宅看取り語りの場」を 9 回開催し 100 人の参加があり、在宅医療や訪問看護等を知っていただく機会となりました。

長野県看護協会公益法人会計の健全運営を目指して

2023年度 資金収支予算

事業活動収入



1.入会金収入
3,778万円(7.4%)

2.会費収入
8,880万円(17.3%)

3.研修会収入
4,379万円(8.6%)

4.受託収入
5,630万円(11.0%)

5.訪問看護・居宅介護支援事業収入
2億6,394万円(51.6%)

6.その他収入
2,113万円(4.1%)

概要説明

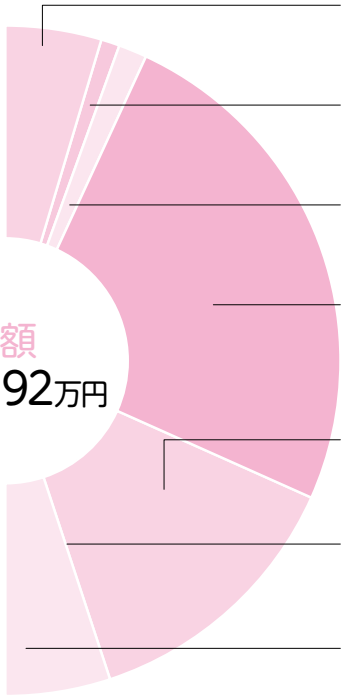
事業活動収入を前年度予算と比較してみますと、

1. 入会金収入は、新入会者数の推移を勘案し、ほぼ例年どおりの 3,778 万円を見込んでいます。
2. 会費収入も同様に、近年の入退会の状況からほぼ例年どおりの 8,880 万円を見込みます。
3. 研修会収入は、認定看護管理者研修その他の受講人数の増加を見込み、4,379 万円と 537 万円の増を見込んでいます。
4. 受託収入は、県からの補助金、委託金等ですが、例年並みの事業実施が見込まれることから、ほぼ例年どおりの 5,630 万円を見込んでいます。
5. 訪問看護事業収入等は、直近の利用者数の増加傾向を勘案し 2 億 6,394 万円と 726 万円の増を見込んでいます。

用語解説

事業活動収支予算
協会の本来の事業（研修や相談事業）を行うための収入支出

事業活動支出



1.研修事業費
4,540万円(9.3%)

2.相談事業費
785万円(1.6%)

3.普及啓発事業費
1,355万円(2.8%)

4.訪問看護・居宅介護支援事業費
2億4,306万円(49.5%)

5.公益目的事業共通
1億3,077万円(26.6%)

6.収益事業費
52万円(0.1%)

7.公益法人管理費
4,977万円(10.1%)

概要説明

事業活動支出予算の内訳を説明します。

1. 研修事業は、認定看護管理者研修サードレベルの実施など、前年度並みの研修実施を予定しており、ほぼ前年同額の 4,540 万円を見込んでいます。
2. ナースセンターの運営、不妊・自殺予防の相談事業は、ほぼ例年どおりの 785 万円を見込んでいます。
3. 普及啓発事業は看護の日、まちの保健室、出前事業等の費用ですが、前年度は単年度事業として、日看協の PR バス活用の「看護の日」事業イベントを実施しましたが、今年度は大規模イベントの実施が見込まれないことから、1,355 万円で 186 万円の減を見込んでいます。
4. 訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所の運営事業では、利用者の増加に対応するため、昨年度比 444 万円増の 2 億 4,306 万円を計上いたします。
5. 全ての公益目的事業に共通して支出する人件費や会館の光熱水費・維持管理費等の公益目的事業共通に 1 億 3,077 万円で昨年度比 507 万円の減を見込んでいます。
6. 公益法人管理費として、長野県看護協会の法人運営に要する費用（総会、理事会等）は、ほぼ前年同額の 4,977 万円を見込んでいます。また、収益事業費として、会館貸付のための経費 52 万円を見込んでいます。

○以上、事業活動収支差額については昨年度より 1,919 万円増の 2,082 万円を見込んでいます。
○投資活動収支、財務活動収支を加えた資金収支予算全体の収支差額は、昨年度比 1,236 万円減の 3,799 万円のマイナスを見込んでいます。

2023年度　重点事業と計画の概要

*定款第4条にある6つの事業に則った計画については2023年度長野県看護協会定時総会要綱をご覧ください。

重点事業	事業計画	実施内容
1 多様な勤務場所で働く看護職が健康と療養の視点で「つなぐ看護」ができる育成支援	1-1 新人期から各職能が交流する研修の企画実施 1-2 保健師・助産師・看護師・訪問看護師のラダー教育を活用した育成支援 1-3 管理期にある看護職の育成支援	●多様な場所で働く看護職を系統的・継続的に育成できる教育企画を継続し、また、各職能が連携し実践できるように、新人期から管理期までの看護職にラダーを活用し研修をブラッシュアップして企画・実施 ●研修会・学会等はオンデマンド形式を併用しながら、さまざまな機会で実践報告・意見交換の場を提供
2 看護職の働き方改革の推進	2-1 看護職の働き方改革に向けた取組みの共有 2-2 多様な人材の背景を理解し、多様な働き方ができるマネジメント支援 2-3 若年層への看護職選択の情報提供	●施設訪問・相談窓口による課題解決に向けた支援 ●ナースセンターと働き方改革推進委員会との連携による事業の推進 ●セカンドキャリア支援研修会 ●若年層に向けて、町の保健室・看護出前講座等での情報提供
3 看護の役割を果たし地域包括ケア体制の推進	3-1 予防的な視点に立った保健と看護の提供 3-2 看護職の連携強化による子育て世代包括ケア体制の推進 3-3 訪問看護総合支援センター（開設）と県内の訪問看護サービス提供体制の充実 3-4 多職種連携による地域包括ケア体制の推進 3-5 自然災害や新興感染症等に対する体制構築と関係団体や自治体との連携への取組み	●生活習慣病の予防や重症化防止に向けた情報共有や研修の場を提供 ●妊娠・出産・産後ケアに関して切れ目のない支援体制の構築 ●医療的ケア児及び小児在宅移行支援への看護提供体制の整備 ●訪問看護師の確保・事業所運営等に関する課題把握と解決に向けた支援 ●長野県訪問看護ステーション連絡協議会との連携強化 ●法改正に伴う災害支援ナース養成の取組み
4 社会の期待に応えられる組織づくり	4-1 会員の利便性向上への取組み 4-2 リソースナースの活動の拡大と推進支援 4-3 看護協会の地域貢献と効果的な広報活動 4-4 協会立訪問看護ステーションが担う役割発揮と体制強化	●地域貢献を視野に入れたリソースナースの活用と看護管理者も巻き込んで進む取組みの情報発信 ●会員への情報発信を情報化社会情勢に合わせて進める ●協会立訪問看護ステーションの安定した運営と他のステーションのモデル的な役割発揮と体制の強化

2023年度 常任委員会

教育委員会　委員長　小坂　晶巳

教育委員会は、研修受講の対象者を「あらゆる場で活躍する看護職」とし、「つなぐ看護」を柱にジェネラリスト研修の企画・運営をしています。今年度は、対面での研修をメインとし、感染対策を行いながら開催予定です。いずれの研修も、現場の看護職の皆さんのニーズを反映しており、看護の実践に役立つ内容となっています。皆さまの受講をお待ちしています。よろしくお願い致します。

小坂　晶巳	看	相澤病院
下田　智恵美	看	北信総合病院
小林　伸子	看	上伊那生協病院
福岡　由恵	看	佐久穂町立千曲病院
島立　歌子	看	川西赤十字病院
池上　由美子	看	諏訪赤十字病院
中村　理津子	看	岡谷市民病院
根井　里佳子	看	昭和伊南総合病院

木下　みのり	看	健和会病院
森上　幸恵	看(認)	下伊那赤十字病院
関川　健次郎	看	北アルプス医療センターあづみ病院
浅田　めぐ美	保	市立大町総合病院
下谷　由紀子	看	長野市民病院
青沼　真奈美	看	南長野医療センター篠ノ井総合病院
山田　さか江	看(教)	小諸看護専門学校

広報出版委員会　委員長　椎名　陽子

広報出版委員会は、広報誌「看護ながの」を年４回発行して、看護協会の活動を会員や地域の皆さまに知って頂くよう努めています。昨年度に引き続き「つなぐ看護」をテーマに継続してより身近な事柄や、いろいろな施設の工夫した取り組みや看護職の活動を紹介して役立つ親しみやすい情報を発信していけるように取り組んでいきと思います。より良い広報誌を作るため皆様の協力を頂くことがありますが、どうか宜しくお願いいたします。

椎名　陽子	看	町立辰野病院
宮澤　こずえ	看	諏訪共立病院
桐生　玲子	看	下伊那厚生病院
南　恵子	保	長野県庁
新免　あずさ	看	飯山赤十字病院

土屋　つや子	助	国保浅間総合病院
名取　裕子	看	諏訪赤十字病院
熊谷　佳奈	保看	昭和伊南総合病院
五十嵐　隆	看	丸の内病院
内山　真実	看	千曲中央病院

認定看護管理者教育課程運営委員会　委員長　細萱　信予

看護管理者は社会の求める看護ニーズを的確にとらえ、質の高い看護サービスを提供する役割を担っています。そのような管理者の育成のため、認定看護管理者教育課程ファースト・セカンド・サードレベル研修の企画・運営・評価等を担当しています。サードレベルは２年目となりました。研修で得た知識とヒューマンネットワークが皆さまの看護管理の宝となりますよう支援していきたいと思います。受講をお待ちしています。

細萱　信予	保	佐久総合病院
樋沢　たか子	看	浅間南麓こもろ医療センター
中坪　睦代	看	伊那中央病院
秋澤　恵つ子	看	北信総合病院
井本　英津子	看	長野県看護大学
下村　陽子	助	県立木曽病院

髙橋　法恵	看	信州大学医学部附属病院
降旗　いずみ	看	市立大町総合病院
花岡　ゆり枝	看	長野市民病院
宮坂　佐和子	看	長野県看護協会
谷川　幸弘	看	長野県看護協会

学会委員会　委員長　新美　三由紀

学会委員会の役割は、長野県看護研究学会の企画・運営と、学会誌の発行です。長野県看護研究学会は年々進化しております。研究報告・症例報告・業務改善報告と幅広く申し込みをいただき、研究発表はレベルアップし、現場ですぐに役立つ情報や知見も共有しやすくなりました。参加者のニーズと費用対効果を考慮し、本年度も現地と Web（ライブ配信）のハイブリッド開催でみなさまとお会いできることを委員一同、楽しみにしております。

新美　三由紀	看	佐久医療センター
小野　園枝	看	岡谷市民病院
筒井　正子	看	飯田病院
篠原　夏子	看	飯田市立病院
山﨑　さとみ	助	県立こども病院
荻原　弘恵	看	浅間総合病院
滝澤　由衣	看	依田窪病院
柳澤　美保	看	諏訪中央病院
山本　康代	看	伊那中央病院
髙橋　百合子	保（学）	長野県看護大学
岡田　真賢	看	長野中央病院
関　夏恵	保	北信総合病院

災害看護委員会　委員長　金子　秀夫

災害看護委員会では「災害支援ナース養成研修」3 回と「フォローアップ研修」1 回を企画・運営し、昨年度は看護管理者を対象とした災害研修も実施しました。今年度、災害支援ナース派遣の仕組みや研修内容が大きく変更となるため、これらに対応できる切り替えをしていきたいと思います。昨年実施した看護管理者の災害研修は参加者も多く、継続した研修の希望があったため、今年度も「続編」として計画しました。引き続き、災害時に活動できる災害支援ナースの養成に取り組んでまいります。

金子　秀夫	看	相澤病院
丸山　健一朗	看	こころの医療センター駒ケ根
高橋　淳	看	佐久医療センター
関　昌代	看	信州大学医学部附属病院
峯村　朝子	看	長野赤十字病院

医療安全委員会　委員長　池上　幸代

医療安全委員会では、医療安全に取り組む研修会を多職種（病院薬剤師会・臨床工学技師会・臨床検査技師会）で企画しています。今年度は「医療メディエーションの基礎」と「地域で取り組む医療安全推進ネットワーク」を計画しました。多職種で行う集合研修は新たなネットワークや情報共有により多くの学びを得られると考えております。多職種の皆様に参加いただき、VUCA 時代の医療安全管理体制推進に役立てていただけたら幸いです。

池上　幸代	看	県立木曽病院
堀　博子	看	丸子中央病院
冨永　恵	看	北アルプス医療センターあづみ病院
土田　純子	看	岡谷市民病院
花岡　佳子	看	伊那中央病院
青木　涼子	看	南長野医療センター篠ノ井総合病院

看護職の働き方改革推進委員会　委員長　那須野　寿子

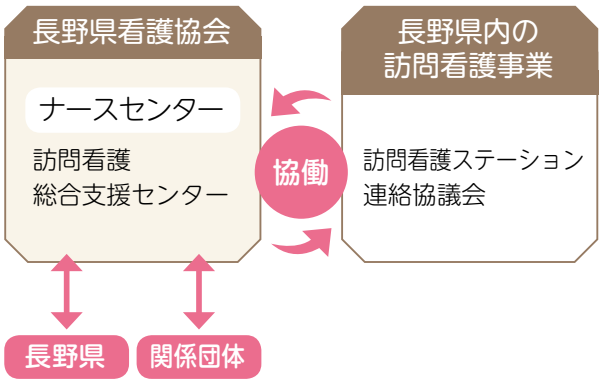
当委員会は、看護職が生涯を通して健康で安全に働き続けられるために必要な考え方やその視点及び体制づくりについて理解し実現していけるよう活動しています。11 月にはヘルシーワークプレイス（タスクシェア・タスクシフトの活用）についての研修を開催、病院・施設訪問、アンケートによる実態調査を予定しています。現場の課題が明確になり今後の支援に繋げていきたいと思っています。

那須野　寿子	看	昭和伊南総合病院
矢野　知子	看	浅間総合病院
西沢　久美	看	柳澤病院
雨宮　美和子	看	富士見高原医療福祉センター
池田　なつみ	看	松本市立病院
岡宮　美満	看	長野中央病院
野田　恵美子	看	長野県健康福祉部医師・看護人材確保対策課
高橋　美栄子	看	信越病院
岡村　晴美	看	南長野医療センター篠ノ井総合病院

2023年4月 訪問看護総合支援センターが開設されました。

訪問看護総合支援センターでは

訪問看護に係る様々な課題を一体的・一元的に取り組む拠点として、
関係団体と連携し、訪問看護提供体制の安定・推進を目指します。



事業内容

◎訪問看護支援事業（長野県受託事業）
- 訪問看護事業所運営基盤整備：コンサルテーション
- 訪問看護事業所の新規開設支援
- 潜在看護師、プラチナナース等の就業及び転職支援
- 新卒訪問看護師採用に向けた取り組み
- 訪問看護に関する調査・実態把握
- 教育・研修の企画、実施

◎地域住民への訪問看護周知と活用推進
- 在宅看取りに関する取り組み

◎長野県訪問看護ステーション連絡協議会との連携
- 事務局に関すること

訪問看護に関するご相談は「訪問看護総合支援センター」へご連絡ください

公益社団法人　長野県看護協会
訪問看護総合支援センター
〒390-0802 松本市旭 2-11-34
0263-35-0421（代表）　090-1990-8469（直通）
FAX：0263-34-0311　E-mail：c-houmon@nursen.or.jp

4月に開設してから、訪問看護に関する相談・コンサルテーションでは、
困難事例について、制度・給付管理について、新規開設について等の支援を行いました。

「長野県かんごちゃん」（「看護の日」キャラクター・ロゴマーク）使用について

「看護の日・看護週間」事業に関する理解や支持を得るためのメッセンジャーとして、公益社団法人日本看護協会で、2021 年度に制作された「看護の日」キャラクター・かんごちゃん。今回、さらなる看護の魅力発信につなげるため、47 都道府県バージョンが制作されました。

施設等でキャラクター･ロゴの使用を希望される場合は、公益社団法人日本看護協会のホームページ>「看護の日キャラクター」をご覧ください。

協会備品貸し出しについてのお知らせ

「かんごちゃん着ぐるみ」

- 支部活動、病院祭、イベント等にぜひご活用ください
- 7月3日（月）から受付開始します

「手洗いチェッカー」

- 施設内の感染対策研修時等にぜひご活用ください
  手についている汚れを専用ローションで人工的に再現し、専用ライト下で光らせることによって、適切な手洗いが出来ているか診断できます
- 随時申し込み可能です

※ 貸し出し手続き等については協会ホームページをご覧ください
同一時期に複数の申し込みがある場合は、貸出できないことがございますのであらかじめご了承ください

お問合せ先　（公社）長野県看護協会 地域支援部まで
電話 0263-35-0421
FAX 0263-34-0311

第42回長野県看護研究学会
「つなぐ看護」多様な社会で生きる

長野県看護研究学会は、今年もハイブリッド開催を行います。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

2023年10月7日（土）9:00～16:30
会場：長野県看護協会会館
参加登録期間：7月1日（土）～8月20日（日）
（事前参加登録のみ）

★会場参加定員
計300名（先着順）
定員になり次第、
Web配信参加となります

★特別講演★
「唯一無二の自己表現へ」
講師：小平奈緒氏
平昌冬季オリンピック大会
500m金メダル1000m銀メダル
（日本の女子スピードスケート初）

★教育講演★
「トランスジェンダーの看護師からみた医療の現場」
講師：浅沼智也氏
看護師、映画監督、
トランス男性

★シンポジウム★「タスクシェアリングから看護の本質をもう一度考える」

長野県看護協会ホームページの「研修申込システム」から先にマイページを作成の上「学会」よりお申込ください。

※ 併せて「学会誌」のお申込も受付中
https://www.nursen.or.jp/

2023年度　理事会報告

第1回理事会（4月27日開催）

〈協議事項〉
1. 大町地区理事の交代について
2. 2023年度長野県看護協会定時総会（提出議題）について

〈報告事項〉
1. 看護関係団体との懇談会報告
2. 協会内委員会・研修会開催の感染予防マニュアルの変更
3. 「看護の日」イベント実施について

第2回理事会（5月26日）

〈協議事項〉
1. 2022年度事業並びに決算報告の監事監査結果について
2. 2022年度決算確定に伴う2023年度資金収支予算及び収支予算書の変更について
3. 2023年度長野県看護協会定時総会及び職能集会の運営について

〈報告事項〉
1. 助産師職能委員の交代について
2. 協会立訪問看護ステーション運営状況
3. トルコ地震への寄附金について

50th Anniversary

いつも“看護”とともに。

1973年、社団法人日本看護協会から独立した当社は、
この半世紀、看護と社会の歴史とともに歩んできました。
これからも看護の専門出版社として、ケアにかかわるすべての
人びとのために、時代に即した価値ある情報を届けてまいります。

株式会社日本看護協会出版会

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-2 日本看護協会ビル4F　TEL：03-5778-5712　https://www.jnapc.co.jp　特設サイト

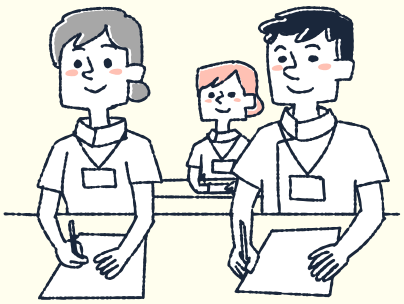
～長野県ナースセンターからのお知らせ～

ナースセンターでは、受講者のニーズに合わせた受講しやすい研修を企画しました。

復職を考えている方、技術不足に悩んでいる方、セカンドキャリアをどうすればよいか考えている方など、受講してまずは一歩を踏み出しましょう！（数字は研修コード）

【看護力再開発研修会】

701 病院・助産師コース：講義と演習含めた総合的研修
702 訪問看護見学コース：見学実習
703 福祉施設コース：福祉施設での看護職の役割を知る
704 技術演習コース：採血・輸液の知識と技術を学ぶ
705 技術演習コース：フィジカルアセスメントを学ぶ
706 e- ラーニングコース：オンラインで知識と技術を学ぶ

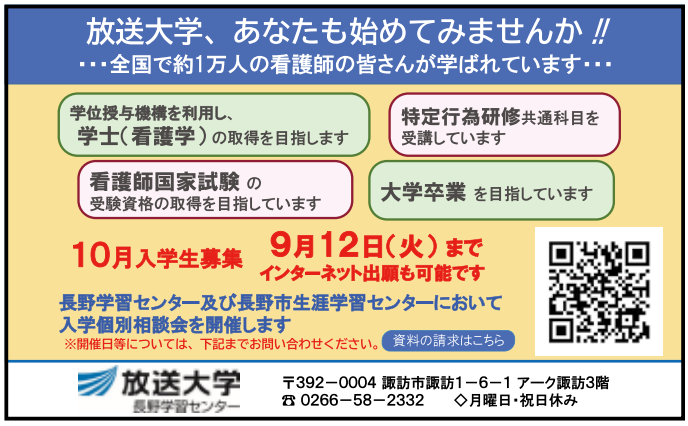


【プラチナナースセカンドキャリア研修】

707・708 セカンドキャリア支援研修
セカンドキャリアの考え方とライフプランニングについて学ぶ（松本・長野会場開催）
709 ～ 712 介護・福祉の職場を知るためのセミナー
地域の中の施設と看護職の役割を知り、今後の就業に必要な知識や心構えを学ぶ（県内 4 地区開催）

研修の詳細は、協会ホームページをご覧ください。
研修情報管理システム
URL：https://ezseminar.nursen.or.jp/

＜問い合わせ先＞
長野県ナースセンター
TEL：0263-35-0067
Email：nagnao@nurse-center.net



発行　公益社団法人 長野県看護協会
〒三九〇―〇八〇二 松本市旭二―一―三四
発行責任者　松本あつ子
印刷　電算印刷株式会社